



- 2 妙見祭 ユネスコ無形文化遺産登録へ
- 3 同窓会長・学校長挨拶
- 4 平成27年度 大同窓会報告
- 6 各支部・地区の紹介
- 11 学年同窓会だより
- 16 座談会「部活動」
- 21 母校だより
- 22 八高史
- 23 頑張ってます
- 24 八代だより
- 28 次回総会あんない

道

八代中学・八代高女・八代高校

八高同窓会会報

第7号

編集・発行 熊本県立八代高等学校同窓会

平成27年11月10日発行

八代妙見祭を
世界の宝へ



八代妙見祭の ユネスコ無形文化遺産を目指して

和久田 敬史(高三十三回卒)

「八代妙見祭」と聞けば、八高出身の皆さんは当然ご存じのことでしょう。

毎年行列に参加されている方、見に行かれていらっしゃる方、懐かしいと思われる方など、妙見祭に対する想いは様々だと思えますが、最近妙見祭を取り巻く環境が少しずつ変わってきておりますので、その辺のことをご紹介いたします。



①ユネスコ無形文化遺産 申請までの経緯

「八代妙見祭の神幸行事」は、平成二十三年三月九日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。文化庁では、指定理由として「本件は、九州南部を代表する大規模な祭礼行事である。また、妙見信仰に由来する亀蛇の練り歩きや独特の形態をとる華麗な笠鉾の巡行は、地域的特色が顕著であり、多彩な

出し物から構成される行列が練り歩く行事は、我が国の祭礼文化を考えるうえで重要である」と解説しています。

その後、平成二十七年三月にはユネスコ無形文化遺産代表一覧表に全国三十三の祭りを一括して「山・鉾・屋台行事」として記載することが提案され、九州内では八代妙見祭のほか、博多祇園山笠行事、戸畑祇園大山笠鉾「菊慈童」



笠行事、唐津くんちの曳山行事、日田祇園の曳山行事など、わずか五件だけとなっており、熊本県内で初めてのリスト入りです。

ユネスコ無形文化遺産とは、ユネスコ事業の一つで人びとの慣習、描写、表現、知識および技術ならびにそれらに関連する器具、物品、加工品および文化的空間のことを言います。

同じくユネスコ事業である世界遺産が建造物などの形があるものを保護の対象としていることにに対し、無形文化遺産は形のないものを保護の対象としています。

このまま順調に進みますと、予定では平成二十八年の秋頃には登録の見込みとなっており、八代妙見祭が日本の歴史、文化、生活風習と密接に結びついた重要な文化遺産であることが世界的にも認められるということになります。

このことは、八代妙見祭の長年にわたる歴史と関係者の皆様方が保存・継承に取り組んでこられた賜物であり、関係者だけではなく、市民の皆様をはじめ、八代市ご出身の方々にとつても大変素晴らしいこと、誇らしいことであると思います。



②八代妙見祭の 保存・継承への取り組み

八代妙見祭を次世代へ継承していくためには、後継者育成や出し物の保存・修理、広報宣伝など様々な課題があります。

まず、後継者の育成に関しましては、市内の小学校を訪問し体験を行つてもらう「出し物体験教室」。獅子、奴、亀蛇など子どもたちが日頃の練習の成果を披露する「ちびっこ妙見祭」などがあります。広報宣伝活動としては、小中学校や各種団体の依頼に応じて妙見祭に関する講演を行う「出前講座」の実施や、八代駅の北側にある日本製紙八代工場の壁に妙見祭の大型看板を設置するなど、情報発信を行っています。

また、ユネスコ無形文化遺産

八高同窓会では
毎年、花馬奉納で
参加しています。



砥崎の河原で(昨年)

登録に向け、妙見祭保存振興会や経済団体、行政などが連携しユネスコ支援応援隊が結成されました。これは、市を挙げて広報、PR活動を行い、八代妙見祭を八代の宝から世界の宝へ高めていこうというものです。これを契機に八代のことを知ってもらい、来ていただき、八代市の活性化に繋げていきたいという考えで、八代高校の卒業生及び在校生や関係者の皆様方のあたにかいご支援とご協力をよろしくお願いします。

八代妙見祭保存振興会
<http://www.myoukensai.com/>

八高が今、大変です！山本校長、頑張ってください。



会長 紀岡 山元

熊本市に住む友人から言われました。

「今は八代高校よりも（同じ県立の）〇〇高校の方が良いらしいですね」

そんなはずはないよとすぐに否定しましたが、よく考えてみると現実はその通りかもしれないと悔しい思いをしました。

八代高校についてはある程度、情報を知る立場にある

りますが、他の学校については自分が八高生であった頃のイメージしかありません。

新しくできた熊本第二高校（昭和37年）、熊本西高（昭和50年）、熊本北高（昭和58年）については全く知識がありませんし、熊本の第一高校も現在は男女共学になり、玉名高校と宇土高校は本校と同じ中高一貫教育校になっております。

県立八代中学校の第一期生80名が八代中学・八代高校の6年間の中高一貫教育を終えて今年の3月に卒業しました。大学進学が期待されましたが、前年よりも

悪いという残念な結果でした。

また、八代高校の運動部の活動においても全国大会に出場するような活躍は最近あまりありません。

この同窓会報『道』第七号に掲載しております「八高座談会」に出席の柔道部は、昭和26年に第一回全九州高校柔道大会で優勝し、昭和28年から30年まで3年間、熊本県大会で優勝しております。

庭球部は、昭和35年に九州では初めて男子団体で全国大会優勝という偉業を成し遂げました。

また、水泳部は現在、福

岡支部同窓会会長の佐藤好助さんが昭和34年、35年と2年連続して全国大会で優勝されました。

その頃は、八代高校の文武両道という評価は当然という認識がありました。しかし今、周りから八代高校の文武両道という評価はなされていないだろうと憂えております。

高校野球において、同じ県立の宇土高校は昨年、そして、廃校直前の多良木高校は今年、熊本県大会でベストフォーに入る活躍を見せました。

かつて、八代高校はそののんびりした校風から「八

代大学」と言われました。しかしそんな中でも、八代高校の文武両道は地域から認められておりました。

今、私達は「どうした八高！」と叱咤激励しなければなりません。

幸い、この4月に赴任してこられた山本校長は情熱的でバイタリティ溢れる素晴らしい校長です。八代高校を活性化させようと努力しております。

私達同窓会は、この山本校長を全面的にバックアップしていこうと思います。同窓生の皆さん、よろしくご支援をお願いいたします。

御挨拶



学校長 山本 朝昭

八高同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日

頃から本校教育発展のため、物心両面にわたって多大なご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

この4月の定期異動によ

り、前任の唐津和雄校長の後任として就任致しました。私自身は平成元年から平成8年までの8年間、英語科教諭として本校に勤務させていたため、18年ぶり二度目のご縁を頂いたことを大変嬉しく思うと同時に、責任の重さを痛感しているところです。

創立百二十年の歴史を誇る県下有数の伝統校である本校は、平成21年に県立八代中学校を併設し、県内初の併設型中高一貫教育校と

してのスタートを切りました。その八代中学校第一期生がこの3月に八代高校を卒業し、長い歴史と伝統に新たな歩みを加えたところ

です。歴史と伝統に裏打ちされた不易の力を基盤にしつつも、新しきものに貪欲に挑戦していく進取の氣象を発揮することで、中高一貫校のメリットを最大限享受していきたいと考えています。熊本に八代あり、九州に八代ありと、全国から注目される魅力溢れる学校

づくりのため、精一杯努力していく所存です。

いま、世の中はめざましい勢いでグローバル化が進展し、教育の面でも戦後最大と言われる改革が行われています。このような変化の激しい時代には、少々の変化に動じない強さと、新たな変化にも柔軟に対処できる資質を持った人材の育成が急務です。将来、郷土八代を担うリーダー、日本や世界を舞台に活躍する人材、グローバル社会を生き

抜く人材を育成するため、教育改革の流れを先取りした大胆な取り組みが必要であると考えています。八高は、揺るぎない伝統校としての誇りを堅持し、新しい時代の波を力強く、しなやかに乗り越えて行きます。ご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、八高同窓会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



平成27年度

八代中学・八代高女・八代高校 同窓会

— 昭和 あの頃えがいた未来は今 —

平成27年度八代中学・八代高女・八代高校同窓会が、「昭和あの頃えがいた未来は今」をテーマに、8月22日八代ホワイトパレスで開催されました。好天に恵まれ、全国同窓会支部からも含め565人もの同窓生にご出席いただき、盛大に開催されました。テーマどおりに旧友との再会を楽しみむ懐かしい同窓会となりました。

総会

八代高校同窓会総会は、午後1時30分に物故者への黙祷が始まりました。菅嶋義邦副会長による開会、岡山元紀会長挨拶、山本朝昭名誉会長（八代中学・八代高校校長）挨拶と続き、来賓挨拶は代表して7人の皆さん、守屋充男 関東地区同窓会長、坂田孝之 東海同窓会長、宮崎正郎 関西同窓会長、吉田高範 岡山同窓会事務局長、谷崎續 広島県同窓会長、佐藤好助 八代高校同窓会福岡支部長、益田敬二郎 八代高校同窓会熊本市支部長に賜りました。来賓紹介ののち岡山会長を議長として議事を進めました。

役員体制では、新たに名誉会長に山本朝昭（校長）、理事に簗田正一（高19）、八田要一（高24）、校内理事に吉岡紳一（高32）、菅浩（高34）、東海同窓会長に坂田孝之（高18）の6人の皆さんをお迎えしました。その後、行事報告、会計決算報告、監査報告、今年度行事予定、予算案が承認されました。赤字決算が続いているので、年会費納入の増加を図る方針が示され、対応策としてホームページの充実で年会費納入率の低い50歳未満の会員の同窓会意識を高めることになりました。

記念講演会

総会後の午後3時30分からまちづくり伝道師として知られる熊日宮原販売センター代表で同志社大学大学院嘱託講師として活躍中の岩本剛氏（高33）を迎えて、「地域の教育力をどう育むか？ ～少子化時代の人材育成～」を演題に講演いただきました。

氷川町役場を早期退職後に長野県の小布施町振興公社営業部長として活動し全国的なネットワークを築けてきました。

講演では、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）という、人々の信頼関係や人間関係（社会的ネットワーク）がまちづくりの大きな鍵となることを提示されました。広域的ネットワークと地縁的ネットワークを組み合わせて小学生から大学生までの重層的な人材育成を継続してきたことが報告されました。具体的な活動として全国の地域づくり団体との物産交流である「わらしべ長者便」、中学生以上を対象とした「宮原まちづくり大学」などが紹介されました。最後に、その手法について参加者との意見交換が行われ、岩本氏のまちづくりの理念が伝わった講演会でした。





会場から溢れそうな同窓生 八代中学・八代高女・八代高校 同窓会よ 永遠に進まん

懇親会

懇親会のオープニングは、幹事学年の高33回生有志で結成した「中堅八高33スペシャル」が昭和歌謡メドレー7曲を披露しました。今回のテーマである「昭和」あの頃えがいた未来は今―に沿って高校時代の想い出が詰まった名曲が会場を呑み込みました。一時期クリスタルキングに在籍した松崎圭子さんがこのバンドのキーボードを担当しプロの腕前が観客を唸らせました。



最高年齢者 原田玲子さん 守田満さん



旧制 八代中学校校歌を歌う



旧友との再会を喜ぶ光景があちこちで



八代高等女学校校歌を歌う



中堅八高33スペシャルによるバンド演奏



次回の幹事学年は高34回生です

今年の最高年齢者の表彰では、高女36回生のお二人に花束を贈呈いたしました。

宴もたけなわの中、同窓生の皆さんによる八代中学校校歌、八代高等女学校校歌が朗々と歌い上げられました。

そして来年の幹事学年である高校34回生へ法被の引継ぎをし、代表して喜多川聖也さんの決意表明と続き、八代高校校歌「道」を会場全体で斉唱し、旧友との再会を祝いました。また、画家の澤村武山氏による特別展「私の住む街」も開催され注目を集めました。

幹事学年同窓会

ご参加いただいた同窓生の皆さんのお見送りを終え、幹事学年の同窓会を開催しました。

最初から不安だらけでしたが、

多くの同級生が協力することで、無事大同窓会を終えることができました。大役を終えた充実感と程良い疲れと、懐かしい面々と尽きない昔話で楽しい時間はあっという間に過ぎて行きます。

忙しいにも関わらず遠方からも駆けつけてくれた友、無理を言って実働部隊に駆り出した友、卒業してから本当に久しぶりに会えた

友、懐かし

い顔を肴に

宴は深まり

ました。高

33回生の

チームワ

ークは最高

でした。全

員参加を目標

に、また同

窓会しよう



幹事学年の重責を終えて安堵の笑顔



実行委員長の福岡壮一代表幹事が三三七拍子

関東地区同窓会

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。
会員はおよそ二千四百名で、10回卒の守屋会長、19回卒の中村事務局長を中心とし、学年幹事会を開催して運営しております。
活動は『総会・祝宴』『クラブ活動』等を行っており、公式的な連絡や住所変更届はホームページ、日々の話題はfacebookと使い分けて情報を交換し交流の充実を図っております。

総会・祝宴

今年は2015年9月5日(土)、上野精養軒にて、およそ230名の皆様にご参加をいただき盛大に開催いたしました。会は「第一部：総会」「第二部：祝宴」「第三部：引継ぎ・閉会の三部構成で行いました。

●「第一部」は総会で、会計報告と承認を行い、関東地区同窓会の守屋会長、八代の本校同窓会の岡山会長、県立八代中学・八代高校の山本校長、恩師の先生方にご挨拶をいただきました。



●「第二部」の祝宴は、ビールやワインにおいしい料理をいただきながら、学年を超えて一年ぶりの再会を喜び合いました。



▲くまモン

祝宴は、最初にくまモン隊の登場！くまモン体操、県産品クイズなどで大盛り上がり。最後に、熊本県の営業部長兼しあわせ部長のくまモンは、しっかりとふるさと納税のPRを行ったあと、会場前のスペースで個別の写真撮影などにも応じてくれました。さすが公務員！

くまモンのあと、田口顧問(90回卒)の発声で乾杯！歓談。皆でワイワイ旧交を温めました。



▲乾杯

アトラクションは、まずゲストの映画監督の遠山昇司さん(55回卒)のご挨拶と制作中のマジック・ユートピアの予告編を見せていただきました。



▲アトラクション

次に、岩瀬立宣さん(35回)のライブが行われ、ステイキングの「Englishman」など、ピアノマン＆コーラス隊とともに盛り上げてくれました。歓談の時間には会場の皆さんがそれぞれに撮られた写真や動画をfacebookにリアルタイムでアップされたので、「都京で来られんたっ

た人たちがそつば見てシヨノムシヨノム」(笑)。

歓談と記念撮影のあとは「第三部」で、まずは今年度幹事と来年度幹事の紹介と挨拶。続いて校歌斉唱で八代中学高女、高校の校歌を皆で歌って、またまた大いに盛り上がり、最後に万歳三唱で締めて、来年の再会を誓ってお開きとなりました。

高校41回卒の倉さん、松永さんを中心とした当番幹事の皆さん、ご苦労様でした。

倶楽部活動

●「ゴルフ倶楽部」は年に数回任意のグループで『同窓会ゴルフコンペ』を開催し、毎回10~20名ほどの皆さんが参加されており、日ごろの行いが功を奏しいつも好天に恵まれ和気あいあいとゴルフを楽しんでいます。

当面は2015年11月27日(金)にコンペ開催予定でお申し込みはホームページからfacebookで…(笑)。

●「居酒屋探検隊」は、突然facebookで呼びかけて集まる、神出鬼没、形態不明のアメリカ的な活動です。

時には花見、時にはスポーツ観戦などをからめて、あちこちの居酒屋さんにてやっ

ろ弁でワイワイガヤガヤ、構お安く楽しんでおります。(笑) 結



▲居酒屋探検隊

通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東どつと混む」は、総会の案内、写真のダウンロード、各種報告事項などを掲載しておりますので「http://www.85kantou.com」にアクセスしてご覧ください。また、住所変更届けもホームページで出来ますので、関東地区での移動、転入、転出などの場合には、ご利用ください。

なお、関東地区の総会・祝宴や倶楽部活動は関東地区以外の方もご参加いただけます。ご希望がございましたらホームページ「八高関東どつと混む」やfacebook「八代高校関東地区同窓会」をご覧ください。各学年幹事にお問合せください。

(高29回卒立居場誠治)

私たちの関西同窓会

30周年 総会・懇親会 (平成27年6月6日)

傘寿・7回生、喜寿・10回生、古希・17回生、還暦・26回生を祝う！！

平成27年6月11日 熊本日日新聞 朝刊

◇八代高校関西同窓会総会 6日、大阪市内で一二五人が出席してあった。宮崎正郎会長が「今年は創立30周年、若い人たちが活躍しさらに会を発展させてほしい」とあいさつ。来賓の山本朝昭校長が部活、進学について岡山元紀同窓会本部会長が東海支部の立ち上げなどについての現状を報告した。懇親会では同校OBの遠山昇司監督の新作映画「マジックユートピア」の紹介などがあった。

県人だより



人生変えた!!同窓会

川口 宏子 (高15回卒)

あの時、八高関西同窓会に出席していなければ、今の私の生活は、随分違っていたらう。

それまでの私は、忙しさと面映ゆさで同窓会に出席したことがなかった。60才の時、当番幹事が回ってきた。級友に誘われ、同期の人達と会を盛り上げようと、色々考え、準備をして総会に臨んだ。

受付をした。木邑事務局長に「上手く出来た。来年も」と、声をかけられた。何歳になっても褒められると嬉しいものである。翌年、私達はいそいそと出かけて、受付など手伝った。

あれから、10年。熊本県人会いさつか会など種々の会に参加させてもらっている。沢山の方々と出会いは、興味深く、新鮮であり、勇気と元気を頂く。

今、私は同窓会という温い泉の中で嬉しい日々を過ごしている。



還暦の26回生



7回生・10回生

故郷を離れての同窓会

松岡 憲明 (高24回卒)

私は大学卒業後、京都の会社に入社して39年、高速道路関係の仕事で全国の工事現場を移動してきました。現在は本社勤務の単身赴任中で、月に一〇回は帰郷しています。この関西同窓会の入会を迷いましたが、強い誘いもあり今回始めて参加しました。

昨年11月2日の故郷での還暦同窓会に参加したのが二回目位で、あまり縁がありませんでした。今回の関西同窓会では様々な方とお話し出来て大変有意義な時間を過ごしました。

これから先、何十年京都に居るか解りませんが、八高関西同窓会に積極的に参加して、この会が増々発展します様、少しでもお手伝いしたいと思います。

お知らせ

「大和路ハイク」「八高会コンペ」とも春・秋開催です。



第16回「大和路ハイク」

笑顔になれる八高同窓会

三浦 典子 (高33回卒)

京都の短大に進学し、結婚後も関西で暮らすようになり、八代の話をするこも殆どありませんでした。8年ほど前に京都で暮らす友人に誘われて初めて関西同窓会に参加し、友人と懐かしい話をするうちに高校時代に戻ったかのような気持ちになりました。初めてお会いする方とも同窓、同郷という共通点で話が盛り上がり、それから毎年参加させて頂いております。先輩方と話をさせて頂くと、父を御存知とか、母と同級生とかどこかで繋がりを感ずることが多く、嬉しく思います。

関西同窓会には先輩方の積極的な御協力により30周年を迎えることが出来ました。これからは私達世代が頑張り、次世代へと繋がっていくよう微力ながらお手伝いさせて頂きます。



第39回「八高会コンペ」

来年の第26回総会・懇親会は平成28年6月4日開催予定です

八代高校同窓会
福岡支部だより

第26回
福岡支部同窓会開催

第二十六回
高（八中・八
女）同窓会福岡
支部総会が、七
月四日（土）に八
仙閣で開催されま
した。

本総会の幹事
をまた僕たちが
担当することになるとは、夢にも
思わず、六十歳にして、またまた
幹事会を組織して活動しました。

今回も紙谷良夫さん（S16年
卒・92歳）、なぜか僕は「紙谷先
生」と呼ぶのですが、すこぶる元
気な表情で参加されました。



参加された皆さんは、よく飲み、よく食べ、良き同窓生たちと再会を喜び、時が経つのも忘れ語り合っておられました。そして、また来年もお互い元気で会えることを願う、散会となりました。

当番幹事

S48年卒 國田義行

七月
四日 町歩きレポート



今年は幹事学年ということで久しぶりの同窓会参加でした。担当は、同窓会前のイベント「町歩き」のエスコートでした。私自身初めての町歩きツアーだったので楽しみにしていました。

でも十二名の参加者は初対面の方ばかり、少々不安でしたが、ふるさと館に着くと唯一知っている村田さんがいらしたので、ちょっとホッとしました。いろいろ手順などをお聞きしているうちに、全員が集まり皆さん久々のご挨拶。

まずは櫛田神社でお参り、いろいろ詳しく説明をうかがうと、興味深いことばかり。楼門天井にある恵方板が毎年少しずつ動かしていることも初めて知りました。



上川端商店街―川端中央商店街―博多座―福岡県公会堂記念館―アクロス、山笠の飾りを見ながら戦後の古い鉄筋コンクリートの建物、その二階に小松政夫さんが下宿していたとか、常設の山笠、飾りのまま走る山笠など、説明を聞きながら歩きました。

S48年卒 大原俊子（旧 金橋）

福岡支部の応援模様が、TV放映されました。

2014年10月末、ソフトバンクホークスが日本シリーズの優勝に王手をかける中、私たちは応援団として、FBS福岡放送の「めんたいワイド」という番組に出ました。



私たち、テレビに出たんです。

1日目「信州そば むらた」、2日目3日目は「モンブランクラブ」に於いての収録でした。

参加したのは、若い田上さん、なぜか本当は巨人ファンの榊原さん、八高同窓生15人に加え、番組司会の古賀キャスターでした。イニングごとに一喜一憂する応援の末、阪神に勝利しソフトバンクホークスは日本一になりました。

秋山幸二前監督、ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。今後は解説者としてのご活躍を期待しております!!

その後、番組を見た古い友人から「みたヨー」の声をいくつも聞いて、テレビの力を再認識しました。

さて、来年の福岡同窓会は、平成28年7月2日（土）です。八仙閣でまたお会いしましょう。

●福岡支部の最新情報は

「八代高校同窓会福岡支部」のホームページをご覧ください。
<http://glico1001.blog.fc2.com/>

八代高校同窓会福岡支部 ☐ 検 索

東海同窓会が

誕生しました

第一回総会・懇親会の模様をご紹介します

八代高校 東海同窓会 会長 坂田孝久（十八回卒）

平成27年4月11日（土）
同窓生80余名の参加によ



り、名古屋市内において八代高校東海同窓会 第一回総会・懇親会を開催しました。

東海同窓会は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の四県で構成し、現在、四県で二百八十四名の同窓生が名簿に登録されておりあります。

上の写真は総会後の集合写真、左は懇親会、右下は同窓生が、老若男女仲よく肩を組み校歌斉唱する模様です。



感謝

実行委員をはじめ、ご参加の皆様方のご協力により楽しく会を催すことが出来ましたことに感謝いたしております。また、遠路お越し下さいました他地区の同窓会の皆様には特に感謝申し上げます。

第一回準備委員会開催

（平成26年10月12日）

東海同窓会を立ち上げるにあたり、関西同窓会の橋口相談役、池田監査役と岡山同窓会の吉田事務局長様には委員会に参加いただき、同窓会の現状、今後の展望等ついて資

料をもって細かく説明して下さいました。この準備委員会は、東海同窓会設立の礎となる大変貴重な委員会となりました。左の写真はその時の模様と出席者の皆さんです。



第一回総会・懇親会開催に向け会員へ案内状の発送

平成26年12月20日の準備委員会で送付資料の最終的な確認作業を行い、会員へ案内状等を発送致しました。

左の写真は送付資料の最終確認を終えて一息。第一回総会・懇親会に多くの会員の出席を願い、設立総会の成功を胸に、スタンバイする準備委員の皆さん（後の実行委員）。



HPを
開設しました

福山誠介（高23回卒）が
8月末に作成!!

熊本市支部だより

今年の夏は、暑い日が続き雨も多かったですね。台風15号が九州に上陸し、屋根、樋、雨漏りなど多くの被害があり、爪痕を残しました。

熊本市支部は、2年に一度の同窓会を開催します。昨年、第17回同窓会を、約350名の方々に参加していただき、ANAクラウンプラザホテル熊本・ニュースカイで行いました。ご協力ありがとうございました。第18回熊本市支部同窓会は、来年、平成28年10月22日(第4土曜日)に開催されます。会場は、まだ決まっていませんが幹事は第25、26回卒業の皆さん方が担当します。今年の12月から熊本市支部同窓会に向けて始動します。幹事卒業年度の方々は、熊本市支部の方々に限らず、ご協力をお願いします。

また、平成の卒業年度の方々も楽しい同窓会を企画しますので、お誘いあわせの上、参加をお願いします。熊本市支部の同窓会でありませんが、同窓生であれば熊本市支部にこだわりの必要はありません。今から日程の調整をしていただき、参加よろしく願います。

熊本市支部事務局 坂田雅孝

岡山地区同窓会

市内の会場で昭和54年以来10回目、支部設立後6回目となる同窓会を開催しました。本部同窓会の岡山



会長の山口県同窓会長や広島県同窓会長の他、新たに発足した東海同窓会より三名の役員の方

をお迎えし、賑やかに懇親のひと時を過ごすことが出来ました。



アトフクシオンでは、18回卒の江島敏子さんと22回卒の沢江隆一さんがユニットを組む「八高S」によるアコースティックハーモニカとクラシックギターのコラボや14回卒の森田敦史会長によるスチールギターの演奏を楽しみました。

その他の企画として、正月に新年会を開催し、年間の行事予

定を話し合ったりしております。

また、岡山同窓会の特色として、20回卒の江島幹雄さんが音楽監督を務める



倉敷アカデミーアンサンブルやアンサンブル早島の演奏会を有志で鑑賞に行っております。



4月の桜咲く頃、岡山城・後楽園周りでは横須賀にお住ま

いの5回卒本田大三郎先輩の提唱で始まった「カヌーフェスティバル」の応援や東京町田にお住まいの10回卒剣道範士八段田原弘徳先輩が館長を務める武蔵武道館での高校生剣道大会の見学に行ったりしています。



山口地区同窓会

10月19日(日)正午から、山口グランドホテルにおいて、平成26年度八高山口県同窓会総会を開きました。

総会で山口県同窓会の会長再任の承認や会計報告などをして



集合写真を撮り、懇親会に入りまし

たのですが、砥上利則会長(高10回卒)の流暢(?)な八代弁に安堵したのを覚えています。あのころ、オウム真理教に関連した事件が起こり、教祖の生家が八代にあるということで、大変話題になりました。

中、自己紹介(近況報告)をしたリ、八高時代の思い出話や故郷の話をして話が弾みました。盛り上がったと歌を歌い出す人もいました。また、「八代弁deピン」ゲームでは賞品を目指して皆さん真剣でした。ばってんそぎゃんたい、どぎゃんもぎゃんも……などの八代弁が飛び交いました。最後に八高校歌斉唱、万歳三唱で閉会しました。

その後、数人は一階のレストランのケーキとコーヒーで酔いを覚まし、帰宅の途に着きました。重田千恵子(高18回卒)

大分地区同窓会

大分へ越して10年ほど経ったころ、在太分八高同窓会へのお誘いがあり、新日鉄(住金)のクラブへ出かけたのがこの会へ出席した初めてだったのではないかと思います。

知った人が居るわけでもなし、話題について行けるか不安だっ

会員の世代交代もあり、しばらく途切れていたこの会も、ふたたび松本宏次(高15回卒)事務局長のご尽力で復活しました。爾来、前岡孝子(高3回卒)顧問の肝いりで別府市での開催が続いています。

地区の同窓会というのは同期会と違って縦の関係になりますので、少しなじみが薄い感じがしますが、同郷の同じ高校へ通ったというほんのわずかの接点にもかかわらず、和気あいあいと過ごせる時間を持つるのは貴重であるように思います。出席率が、在住されている同窓生の数からすると低めなのが残念です。

顔見知りの少なさに参加を躊躇される方もいらっしゃるでしょうが、ごく簡単に気楽な関係をつくれるというメリットもあります。

今年はひとつ国東へいらしてみませんか。

草柳英一郎(高12回卒)



【扇山火まつり】別府市街地の背後に横たわる扇山を一気に焼く山焼き行事で一〇〇年以上も続く【別府八湯温泉まつり】(4月1日)のメインイベントの一つです。夜空に浮かぶ上がる炎のシルエットが別府に春の訪れを告げ、温泉まつりを華やかに盛り上げます。

(松本事務局長提供)

広島地区同窓会

広島同窓会では、8月20日に3周年の総会・懇親会を開催しました。

当日は、八代高校同窓会の岡山会長及び本村事務局長にご臨席いただき、山口県同窓会からは山下会長、岡山同窓会からは吉田事務局長と本村隆始さん(高43)にもご出席をいただき、総勢15名での同窓会となりました。

懇親会では三輪(旧姓下津)真理さんによ



【三輪さんの歌と演奏を聞く】

る歌と演奏がありました。三輪さんは、広島を中心に活躍しておられますが、この度新しいCDをリリースされたこともあり、そのアルバムに収められているオリジナル曲を中心に歌っていただきました。

また、最近中国人旅行者の爆買いで話題となっているクルーズ客船による旅についての紹介も行いました。



【出席者の皆さんでの集合写真】

今回の出席者は、昨年より少なく、ちょっと寂しい会となりましたが、八高同窓会の輪は少しずつ広がっています。今回は、初参加者として、堀達也さん(高26)と木本啓介さん(高53)に出席していただきました。

既に、県内の同窓会参加者は、延べ20人を超えており、近い将来には、30名の参加を目指して、気軽に楽しい同窓会を継続していきたいと思っています。

現在のところ、毎年8月の最後の土曜日に開催することとしていますので、県内及び近県にお住まいの方で、広島同窓会に参加を希望される方がいらっしゃいましたら、気軽に連絡ください。

学年同窓会だより

中46・47回卒
昭和21年22年卒

旧制八代中学四六・四七回卒業同窓会(不窮会)を省みて

今年は、終戦70周年を迎えたが、私達の中学時代がその頃で、戦争のため従来五年まで行かなければならない学年で四年生で卒業した者と、学徒動員のため工場で働かねばならなかった者が終戦後五年生までいって五年生で卒業した組があったので、不窮会という名称で、四年毎に行なわれるオリンピックの年に同窓会をかねた総会を開催してきましたが、九回までで、その後は、二年毎となり、高齢のため第16回の平成18年10月7日、八代の新大阪屋での同窓会で解散する事になりました。掲載の写真が、その時の写真です。



も元気な人は誘い合って参加するようになったらよいと思っています。最後になりましたが、八高同窓会の発展を心よりお祈りいたします。岡山敏雄

八高3回卒
昭和26年卒

「もぐり一派」クラス会

私たち「もぐり一派」は、昭和24年度2年6組(担任松永義春先生)のクラス員です。この一派が発行している文集、及びもぐり一派集会の状況についてお知らせいたします。

私たちは在校時の2年の時に、当時のクラス員の心境・思いを文章にして、担任のアダ名をかり「もぐり一派」と名付けて文集(原書)を発行しました。

この度、山本朝昭校長のご好意によって、当方より寄贈しました「原書」第七集の全文集を母校八代高校の図書館入口にコーナーを設けて展示していただきました。加えて、「クラス文集のすすめ」という小論文をお届けしたところ、これをパネルに拡大し、文集の横に立看板にして掲示いただきました。以上のように母校の図書館にて大切に保存・展示いただいたことは、私たちにとっては、この上ない幸せであり大変光栄に思っています。

ます。深く感謝しています。

本年5月27日セレクトロイヤル八代にて、第6回もぐり一派クラス会を開催しました。



私たちは、本年平均的に83歳になりますが、文集効果によって、高齢にもかかわらず写真のように多数集まることができました。今回のクラス会では喜ばしことがありました。それは、故松永義春先生のご子息の松永悦雄さんを迎えて開催できたことです。第七集にご寄稿いただいたことがきっかけでご出席いただきました。ご子息が出席されているので、会の席上では先生及びご子息にお礼や説明を述べる者も多くいて、従来の会の様子とは一寸異なった雰囲気、楽しく有意義に過ごすことができました。

また、これも文集の効果ですが、第七集へご寄稿いただいたことによって、ご子息は八代市立第八中学時代に、我がクラス員の高野壽賀雄君の教え子であることが判明して、この度のクラス会にて、両者は久しぶりに感動的な再会を果たしました。

そして、池田康昭君は他のクラス員でしたが、今回特別に参加してくれました。彼は、松永義春先生との個人的なつき合いでは最も親しかったので、先生の色々な側面を語ってくれました。

私たちは高齢であり、今後集会を開催することは困難かもしれませんが。しかし、文集作成は自宅でもできるので、文集発行は今後とも続けようと考えています。

野々口哲朗

八高4回卒

昭和27年卒

いにいな会創立20回記念最後の同窓会

平成27年4月17日、いにいな会最後の同窓会をセレクトロイヤル八代で開催しました。関東、関西からの参加もあり、83名が、一堂に相集い、青春時代にタイムスリップして大いに盛り上がりました。

さて、いにいな会の足跡を振り返ると、高校を卒業して20年目の昭和47年に「日奈久温泉松野屋」で同窓会を開催したのが始まりです。以来2〜3年毎に開催して回を重ねるたびに交流の絆が強くなりました。旧八代高校の校舎が解体されると聞き、卒業後初めて屋上に集合し

て記念写真を撮った後、同窓会を開催したこともありました。関東、関西支部の幹事さんのご尽力により東京と大阪で2回ずつ開催することができました。同窓会の翌日はバス2台に分乗して親睦旅行に出掛けました。前日の興奮さめやらず、車内はバスガイドの説明も上の空、話が弾み賑やかでした。飲みすぎたか「運転手さん、途中で止めて」という者もいました。

八高創立90周年記念行事は4回卒が担当になり、厚生会館で盛大に音楽祭を開催しました。場内では小さな提灯を持って通路に並んで歓迎しました。一〇〇周年記念の時は、旅客船をチャーターして八代内港から出港して雲仙普賢岳を眺めながら天草松島方面を遊覧しました。



その頃は若くて行動力旺盛で、呼び掛けると参加者が多く集まったものです。傘寿を過ぎて今後、同窓会を続

けるのも難しくなり、20回記念を区切りに終会しました。

然し、いにいな会事務局は解散せず忘年会は続けますので、又元気で会いしましょう。遠方の方は事前にご連絡下さい。最後に、いにいな会の皆様のご多幸を祈念致します。

石坂直行

八高5回卒

昭和28年卒

熊本二八回のつどい

戦後70年、傘寿を迎えた昭和28年第5回の卒業生です。小生で終戦。戦時中は、国民学校の教育、戦後は、教育制度が大きく変り新制中学、新制高校、小学校も名稱が戻り、六・三・三制とめまぐるしく移り変った時代を身にしてみても体験しました。八高時代は、本校、松江校舎に分かれ、教科によつては本校と松江校舎を行き来したものです。

今、私達は昭和28年卒業と云うことで熊本二八会として毎年集っています。20数年前は、会場いっぱい集まりましたが、年毎に集い合う仲間も少くなり、遠方からも参加され集い合った仲間で出会えた事を喜び、遠い日の思い出を語り、健康である事の感謝、そして次の集まりを約束し、もう少し人生の旅を楽し

みたいと思

うことです。二八会のお世話をして下さる方々に心より感謝し、二八会で会える友人を人生の宝とし、老いを前向きに愉んで一日一日を柔軟な心で精一杯生きたいものです。

「人生は 笑顔の杖と ありがとう」 小山眞理子(旧姓 小方)



八高9回卒

昭和32年卒

喜寿のお祝い会

平成26年5月末に、9回卒の喜寿祝賀同窓会(80名参加)を開催しました！



昭和14年(卯年)生まれは、今年(平成27年)が「喜寿のお祝い」とのことです。八代在住の女性の皆さんが幹事として、すべて担当いただき、遠路からの出席もあり、思い出に残る盛会なお祝いでした。

次は、傘寿の祝賀同窓会です。皆さん、益々元気で、傘寿の同窓会でお会いしましょう。

垣田美影

八高10回卒

昭和33年卒

燦々会同窓会

八高の校歌「道」と新しい校旗が発表されたのは昭和32年11月20日、我々が三年生の文化祭の初日でした。

校歌「道」に最初に接した卒業生として、校歌には様々な感慨と思い出があります。

平成26年11月21日に開いた同窓会では、前回に続き、八代高校吹奏楽部を招いて校歌「道」を演奏してもらいました。96名参加した燦々会の同級生たちは、孫のような八高生たちが演奏する校歌「道」「高校三年生」「ヤングマン」の曲を聞きながら、ツタカズラの校舎に学んだあの頃にそれぞれの思いを馳せておりまして。

福岡信夫



松江城校舎で遊び学んだ 仲間と青春を蘇らせる旅！

関西三三三会恒例の「バス・ツアー」今年は琵琶湖一周の三日間です。

最初の訪問地は瀬田の唐橋。

この橋は日本三名橋のひとつで「唐橋を制する者は天下を制する」云われる程京都へ通じる軍事、交通の要衝であることから、幾度となく戦乱の舞台に登場する。

昼食は瀬田川の湖畔石山寺山門前の志じみ茶屋。近江の郷土料理志じみめし。鉄釜に湯気がぼわぁとたたき、おこげの香りが懐かしい。

観光ボランティアガイドの案内で、西国十三番の札所石山寺の境内へ。慶長年間に淀殿の寄進により改築された本堂には、紫式部が世界最古の長編小説源氏物語を起筆した源氏の間。多宝塔は日本最古。観月会の月見亭の隣には「石山の石にたばしる霞かな」と詠んだ芭蕉の庵。



はるかに琵琶湖を望みながら今年も関東から、東海から、熊本からと集い、松江城校舎で三年間を学び遊んだ仲間28名が青春を蘇らせる湖国滋賀県の旅の終点、比叡山延暦寺までの道程の安全を思考する。

橋口敏昭

八高11回卒

昭和34年卒

強い絆で結ばれた11回生

お一人お一人に、心を込めて案内状を書きました。すると驚くほどの速さで「出席します」と返事が来ました。中にはどうしても都合が着かない御免！もありましたが、気にしないで下さい。又の機会にお願いね！

八代中学・高女・やつしろ高校大同窓会へ、11回生は33名出席。三つのテーブルで盛り上がりしました。皆笑顔で喜び合いました。

秋には関東地区学年会があります。昨年私の上京に合わせて頂き、18名が集まりました。それはそれは楽しい一時でした。今年は11月13日の予定です。



11回生は、青春真っ只中の

人々です。油絵、筆ペン画、歌を

詠む人、小説、エッセー出版、

文芸同人誌の主宰者、竹細工を

極めて数ヶ所で教室を持つ大先生、テニスの先

生、異色はエメラルド王から転向しニューヨークで売れっ子

絵師、モンゴルで事業、パキスタンへ二ヶ月間の出張を繰り

返す人、食糧関係で今回はアイランドへと外国で活躍する

人、紫綬褒章、藍綬褒章受賞者の多士済済。

元気で会えて良かった。又、来年も必ず会いましょうと強い絆で結ばれた、心晴れ晴れの同窓会の夜でした。村上満智子

八高13回卒

昭和36年卒

生存確認会 実施される

本年、4月21日6時半、セレクトロイヤル八代に於いて「あれから54年心は今でも青春」を motto にして同窓会を行った。

卒業生408名中57名が亡くなっている。連絡が取れた者309名であるが88名が全国か



ら、元気な姿を見せてくれた。今回、初めて参加してく

れた同学年生が7名もいた。お互いに

「生きとったか？」と声をかけ、卒業後

の話で盛り上がり、まるで生存確認会であつた。

今回は幹事達の努力で54年前の様子をスライドにし、出席者の拍手と感動を得た。またCDにプリントして、今回参加できなかった同学年生全員に発送した。これもまた、感謝の便りやメールをもらい、幹事一同感動している。

次回は喜寿の祝いにやるか？2年後では、どうか？などの意見で二次会、三次会が盛り上がった。水雲滋明

八高16回卒

昭和39年卒

「三泊三日」で、古稀「祝を楽しむ

50年前のあなたに会いに来ませんか！届けられた案内状のこの言葉に誘われ、延べ参加者147名が八代に参集。昨年10月22日から24日迄の三日間、



「たおやかな時間」を過ごしました。

初日は、「八代宮」に参拝し記念撮影。夜の懇親会は、日本料理「葵」で自慢の料理に舌鼓。酒宴盛り上り、大きな歓声と笑いが飛交う場となりました。最後は、恒例の「高校三年生」と「校歌」の大会唱で閉会。皆さんの溢れる笑顔と瞳の輝き「ステキでした」。

二日目は、八代観光ツアー。解体中の荒瀬ダム見学からスタート。次に八代神社（妙見宮）で「亀蛇」とのご対面。その後、母校で先輩の授業風景を参観し、校長先生からの現状報告を聞きながら昼食をとりました。

午後は「ヤマハ熊本プロダクツ」の工場見学。八代の明日への活力が感じられました。そして今夜の宿泊地「阿蘇」へと向かいました。途中、草原を吹き抜ける風が心地良く、ススキの穂を揺らし、銀色に輝いているのが印象



的でした。その夜の懇親会も前夜に劣らず、更に盛り上がりを見せました。

最終日は、雄大な阿蘇の風景と古代の歴史を感じながら、熊本城へと移動しました。みなさん、大分お疲れになられたのでしょう!? 足取りが重くなっていました。あつ

という間の三日間、思い出っぱい出来ました。「人生」って楽しいですよ。これから先、良いことがたくさん待っていますヨ! そんな思いを胸に抱きながら、帰途につきました。次回(来年予定) 福岡地区幹事の「三九会」は、元気な姿で再会したいものです。

竹本英明

八高18回卒

昭和41年卒

「あっかつ、五十年たったたい!」

八高三年生から半世紀ということで、18回生関東同期会を東京府中の同級生が経営しているレストランにて、27名の出席で6月27日(土)に開催しました。

出席者は関東以外からも、遠くはワシントンDC、岩手、滋賀、当然八代からと、多数の方が駆けつけてくれました。

八高在学時以来50年ぶりに再会された方、久しぶりに再会された方、初めて面識をもたれた方等様々な形がありました。

パーティは開始から和気藹々と、かつ、賑やかな雰囲気包まれ、なつかしさ、思い出話、近況報告等、話が尽きず、大いなる盛り上がりを見せ予定時間を大幅に超過することとなりましたが、そこは同級生のレストランの貸し切りということで支障なく進めることが出来ました。(会場を提供してくれた同級生に感謝です) やっぱり故郷はいいなあ、同級生はいいなあとその有難さをつくづく感じた一日でありました。

次回も今回同様、沢山の方々に出席していただき、楽しんでいただけたらなと思っております。

田村一夫

八高19回卒

昭和42年卒

八高19回卒業同窓会
リメンバー修学旅行
& 出前同窓会関東編報告

昨年は、11月9

日~11日(2泊3

日)の日程で「リ

メンバー修学旅

行」を実施しまし

た。また、9日に

は「出前同窓会関

東編」を宿泊ホテ

ルで開催しまし

た。熊本からは24

名、現地からは35

名の合計59名の

参加でした。卒業

して約半世紀、そ

れぞれの昭和史

を語り合い、盃を重ね、旧交を温

めあいました。故郷からはお楽

しみ抽選会の景品として「うま

かつちゃん」や彦一製菓の「お告

げの石」などを持参しました。

都内観光では、現地から何人

も同行いただき感謝で一杯でし

た。帰りの東京駅にも何人もの

見送りをいただき、熊本勢は多

いに感激しました。今回、関東勢

の大歓迎を受け、私たち自身が

故郷だったと実感しました。岩

岡君(2)、山崎君(7)をはじめ、

この企画は多くの方から支えて

いただきました。改めてお礼を申し上げます。

(八高同窓会HP学年コーナーに写真集を載せていますので、ご覧ください。)

養田

八高21回卒

昭和44年卒

私達、新制21回卒の同窓生は卒業後三年ごとに同窓会を開いてきました。もちろん三年に一回の集まりを開くことは並大抵のことではあることではありませんが、最初の同窓会は20代後半の時だったでしょうか。それから今年の同窓会まで途絶えることなく続いてきたのは、偏に八代在住の有志の方々の努力の結果に他なりません。この場を借りて感謝したいと思います。

前回の同窓会は5年前、還暦の時でした。これが最後の同窓会と思っていたら、また往復はがきが届きました。うれしかった。また同級生に会える。心が高鳴りました。そして8月12日に私達「44八高会」の仲間はホワイトパレスに集まりました。総勢72名。5年前に比べる

と参加者は少し減りましたが、それでも14名の仲間が集まったクラスもありました。

寺本修一君の司会で始まった会は、和気あいあいのうちに進みました。今年は私達自身が高齢者に仲間入りする年、それに高校を卒業してから早や46年。お互い姿かたちも大きく変わつたし、話題も孫や年金のこと、親の介護のこと、さらに誰彼は初盆で同窓会には参加できなかったとが、自分達の年齢を思い知らされることばかりですが、それでも声は昔のまま、話し始めたらすぐに高校生の頃に帰ることが出来ます。これが同窓会の醍醐味です。アルバムの中のセピア色の写真が急に色彩を取り戻すような感覚が同窓会にはあります。このような感覚を共有するために、遠くは関東から毎回かさずに参加する同級生がいます。八代には既に帰る実家はなく、それでもホテルに泊まって参加する同級生がいます。8月12日は朝から雷鳴がとどろく土砂降りの雨でした。その荒天の中、ゴルフを楽しんで、その後同窓会に参



加した同級生。大病を患い、まだ完治とは言えない中で参加した同級生。うれしい限りです。

わずか三時間足らずの短い時間ですが、私達に大きな活力を与えてくれた同窓会でした。そして心は既に次回同窓会に向かっています。また逢う日を楽しみにして、その時までお互い元気にいられることを願って「44八高会」同窓会の報告いたします。

愛知44八高会

木下敬史

晴天に恵まれすぎて、39.9℃を記録した翌日でしたので、当日もうだるような暑い日でした。新しいメンバーが一人加わり、15名の参加です。今年の幹事はビール大好き？な登美子さんと順子さんの二人です。稲沢市の工場見学が企画され、とても賑やかで楽しい一日でした。

場内を案内される時、若人のグループと一緒に、一言一句に歓声が上がったり、大拍手があったり、私達もつられて拍手をしたり場面もあり、楽しい見学でした。その後、試飲が三杯まで、また時間制限有りの中で、十分に飲めたよつて、皆さん笑顔いっぱいです。

そして、レストランへ。多国籍料理に舌つづみ。特別なお肉も頂けて大満足でした。

4月に発足した東海八高会の

話に花が咲き、都合がつかなくて欠席した人も次回参加を約束しました。又、10月に実施予定の交流会への参加をお誘いし、「出席」と即答頂いた方もあります。来年度は幹事が富士市在住なので、富士山の近くで集つことに決まり、一泊の話も出ています。



八高24回卒

昭和47年卒

還暦同窓会 42年ぶりの八高祭

平成26年11月2日、八代ホワイトパレス。午後1時に開会し午後7時30分のフィナーレまで、延々6時間有余に渡つての還暦同窓会。全員が60歳になり、八高祭の季節に八高祭みたいな同窓会を...と目論みました。「唄おう！歌おう！謳おう!!」『学び舎探訪』『健康談義』『懐かしい写真館』そして「同窓の宴」と続く5部構成。都合により参加、不参加はそれぞれ自由。北は北海道から南は沖縄まで全国各地から180名が集まりました。中に



なんてったって、フォークソングにフォークダンス...ですよ!!

は昼の部だけでも...と神戸から参加し、夕刻には新幹線の車中の人となった友もいました。

八高祭復活!!のメインテーマを決めたのが1年前。世話係の打ち合わせ会を重ねながら、前述の如く盛り沢山のメニューを総勢20数名の世話係が分担し、参加者それぞれの想いに応えることができたのではないかと思います。

こんな楽しいコトがあるから、人生なかなか止められない。今後も良い年を重ねながら再会を楽しみに...と願っています。

徳澄幸治

八高37回卒

昭和60年卒

平成27年1月2日、卒業30年記念の『第37回卒・同窓会』を八代ホワイトパレスで開催しました。

中野先生、藤井先生、田中和大先生、岡田先生、前川先生、吉良先生、田中満守先生の7名の先生方をはじめ、県内外から総勢127名が集まり、賑やかな宴

となりました。お忙しい中、ご出席いただきました皆様心から感謝申し上げます。

ビールやワインにおいしい料理をいたしながら、高校時代に流行った曲とともに、体育祭や文化祭、クラスマッチなどの写真をスライドショーで楽しみ、当時を思い出し大いに盛り上がりしました。また、今回出席がかなわなかった方からの近況報告やメッセージが卒業写真とともに紹介されました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、まだ話し足りない。あの人に会いたかったなどの声が聞かれました。

そこで、毎年一月に八代でプチ同窓会を開くことになりました。詳細は第37回卒同窓会のFB等でお知らせしますので、お近くの方や帰省される方は是非ご参加ください。

上野 信

陸上競技部OB会総会

平成27年8月8日に設立総会を開きました。

高4回卒の潮信男さん、本松昭一さん、この3月に卒業したばかりの川浦和貴くん、特別会員として高女36回卒の守田満さんなど34名が参加しました。

今回は準備の都合で九州地区在住のOBだけに案内を送りましたが、2年後の平成29年に開催する第2回総会には全国のOBに

参加を呼びかける予定です。尚、役員は次の通りに決まりました。

会長 岡山元紀(10回卒)
副会長 元島博信(12回卒)
理事 麦田康利(17回卒)
平井信行(38回卒)
森 洋三(19回卒)
星田章広(43回卒)
事務局 佐枝幸憲(20回卒)
電話 0965・52・6368
携帯 090・1772・8797
名簿作成のために御協力をお願いします。

現在、不明の卒業生は以下のとおりです。この学年の陸上部OBの方は御連絡を!!

◇昭和52・55・57・58
59年3月卒業の方々。
◇平成05・06・07・14・15
16・17年3月卒の方々。



日本武道を引き継ぐ柔道・剣道・弓道

全国制覇成し遂げた庭球部

水泳王国八代を築いた水泳部の精鋭たちが集合!!

八高座談会 2015 部活動熱血編 part II

2015年8月4日 於 セレクトロイアルホテル八代



新制高校開設直後、いきなり
3年連続団体出場!!
先輩は鬼のコーチ
半端ではない柔道部の練習!!

岡山会長 皆さんこんにちは。本日は柔道部、剣道部、庭球部、水泳部、弓道部のOBの皆さんにお集まりいただきました。皆さん方の青春の熱い血潮を思う存分語っていただきたいと思います。

司会 高校36回卒の江崎と申します。本日の司会を務めさせていただきます。まずは、自己紹介を兼ねて所属されていた部活のお話しをお願いします。

出席者

徳永 三幸 (高4回柔道部)
福岡 信夫 (高10回柔道部)
松森 萌 (高8回剣道部)
北岡 博 (高25回剣道部)
堀川 剛 (高9回庭球部)
富永 勝年 (高14回庭球部)
後藤 昭典 (高13回水泳部)
森本 俊規 (高24回弓道部)
松嶋 宏平 (高30回弓道部)
岡山 元紀 (高10回陸上部)
村山 忍 (高14回)
八代高校同窓会会長
八代高校同窓会副会長
司会 江崎 博美 (高36回)



徳永 三幸さん



福岡 信夫さん



岡山 元紀さん

福岡 高校10回卒です。現在、市

(笑)

指導教師に恵まれ、岡田先生は戦時中武器庫だった所に、畳を敷いて練習をしていました。床が固くて、投げられたら息がつまるくらい痛いの、寝技から始めるようにしました。畳も破れて埃だらけの道場でした。九州大会で優勝した時は、トラックに乗って市内をパレードしてもらいました。

徳永 私は、終戦直後の昭和21年に旧制八代中学に入學しましたが、すぐに学制改革で新制高校生となりました。その時再開した柔道部の1期生です。今でもずーっと柔道が続けています。

終戦直後は、マッকারサーにより柔道・剣道は禁止されていました。当時八代には松野道場と土谷道場がありましたが、私は土谷道場で練習をしていました。学校柔道が解禁になると早速、八代高校で柔道部ができました。武道が禁止されていた時期に、八代には道場があったおかげで、九州大会や全国大会で良い成績を収めることができました。私は、高校時代は14勝7引き分けの戦績で、八代高校柔道部は、当時は全国大会がなかったが、熊本大会や九州大会で優勝し、全国に名を轟かせる強豪校でした。

の柔道協会会長をしています。当時の先輩方は春休みや夏休みに八代に帰って来られます。それも、今日は来ないといいたいのかなあと、思っている日に限っていらつしゃる。(笑)先輩がくるとめっちゃくちゃ鍛えられました。先輩たちは明治大学の現役の選手が多く、練習中首を絞められ、よく落とされました。(笑)きつくてたまりませんでした。当時は、1日5回もご飯を食べていました。朝は家で食べて、10時ごろにお弁当を食べ、昼は売店でパンを買って、稽古が終わったら大学饅頭をたべて帰宅してから夕飯を食べるというような生活をしていました。中でも、明大のキャプテンをされていた吉永富義先輩はすごかった。大学を卒業して肉屋をはじめておられ、単車で来ては、私たちを準備運動の代わりに投げられました。初代の若乃花と腕相撲をして勝ったと自慢しておられたくらいの方でしたので、めちゃくちゃに鍛えられました。合宿も春・夏やっていましたが、春は松江の久蔵寺で、夏は日奈久の西宝寺でやっていました。そこにも先輩たちがきて鍛えるのです。だから血の小便をしたことは何回もありました。合宿の打ち上げは一升瓶からコップに入れて、先輩が「飲め」とおっしゃる。飲まないで打たれるので飲む。先輩たちが見張っていてお寺からは外には出られま



松森 萌さん



北岡 博さん



江崎 博美さん

せんでした。あくる日は二日酔いでした。今だったら即、退学だったと思います。(笑)

戦後の統制時代を乗り越え、蘇った剣道の黄金時代

松森 高校8回卒の松森です。熊本県の剣道は、現在全国でもトップクラスですが、私達がそのはしりでした。高校に入学したときはまだ、剣道部はありませんでした。

私が八代高校に入学したのは昭和28年でした。2学期になってから、学校のアナウンスで、剣道部を作るので、入りたい学生は集まりなさいと放送がありました。それまでGHQが日本の武道、中でも剣道を敵視しており、学校で剣道を教えることが禁止されていました。2年前に朝鮮戦争が始まり、国際情勢も変わり、GHQの考えも変わってきて、警察予備隊をつくる状況の中で、昭和26年にサンフランシスコ講和条約が結ばれ、日本は独立しました。私が入学したころには剣道開設の許可が出て、剣道部をつくることになり、入部しました。部員は2年生も含めて7、8名くらいでしたが、3年生はいませんでした。道具もなかったのが、公民館の階段下にある昔の古い道具を集めてきて、練習を始めました。澤 秀生先生(理科)が担当、社会人コーチとして、

おつしゃっています。現在は日本各地、世界各地を指導して回っておられる方です。

松森 田原さんには、竹刀の持ち方から教えました。その当時指導いただいた先生が体調を崩されていたので、田原さんが1年生の時、私が3年生だったので、私が指導しました。彼には私の印象が強く、今でも私を大事にしてくれています。(笑)

北岡 高校25回の北岡です。高校の3年間は剣道だけやっていました。(笑) いまも剣道は続けており、八代市の剣道協会の副会長をしています。私は昭和45年に入学しましたが、丁度その時、体育の松村洋祐先生が来られて、自分は3年間八高にいるから一緒に頑張ろうということ、1年生から試合に出させてもらっていました。当時の熊本のレベルは非常に高かった。

熊本県の代表でインターハイに出たのは八代東高で、第一高校(秀岳館)は鹿児島国体に出場するなど、八代のレベルも非常に高い頃でした。剣道の場合は、戦前から有名な玉竜旗という大会がありましたが、2年生の時に、はじめて玉竜旗に出場できました。その時、先輩たちから10年ぶりの出場になると言われました。3年生の時も出場することができました。2年生の出場時に頂いた寄付で、剣道部の部旗を作ろうということになり、当時書道の先生であった、吉川先生にお願いしたところ、先生から「俺が書いたら金がかかるぞ」と冗談で言われ、紙を持ってこいと言われ、広用紙2枚に、「剣心」

と書いていただきました。道場に「剣心」と書かれたものがあつたのでそれを参考にされたのでしょうか。先生の書かれた文字で旗を作ることになった。また、自分たちでお金を集めて、手ぬぐいも作りました。それも、吉川先生に、昔のようにならと右から横書きに書いてもらいました。その手ぬぐいの字が今も使われているそうです。部旗は3年生のときの玉竜旗に持つて行きました。会場一面に貼るのだが、旗の大きさは、5番目に入るほどでした。

八高唯一の全国制覇!! 男子庭球部の偉業

堀川 高校9回の堀川です。旧姓は井本です。庭球部が全国大会優勝した時の指導者の一人として思い出深いものを感じています。今日は、みなさんの話を聞いて、残り少ない余生の糧にしたいと思います。(笑)

富永 昭和35年の全国大会で優勝させていただきました。高校時代も肌が黒かったが、今も黒いままです。(笑) 現在、筑紫野市でテニスの指導を続けています。庭球部の顧問は小田俊一先生で、皆は「げたさん」と呼んでいました。げたさんが顧問で、井本(堀川)さんがコーチでした。全国大会には



堀川 剛さん



富永 勝年さん



後藤 昭典さん

2年生が6人、3年生が2人だったのであまり強くなかったのですが、ただ団体戦ということで勝ち上がっていききました。全国大会でも全部2-1だった。1勝1敗、3番目が全勝ということで勝ち上がっていききました。全国大会では3回戦に勝ちベスト8になったので、教頭先生が学校に電報を打たれましたが、それから2時間後に優勝しました。3年の時には、全国大会で準決勝まで進み、途中で2-10で勝ち進んでいました。井本(堀川)先輩は、わざわざ名古屋から新潟まで駆けつけてくださいました。地元新聞社が取材にきて、今年も優勝じゃないかということ、写真もとって意気揚々でしたが、残念ながら準決勝で負けてしまいました。

岡山 八十周年記念誌「白鷺」にある、げたさんが書かれた当時の回想文を読むと、全国各地を転戦に転戦を重ねたと書かれており、すごいなと思っています。

富永 そうですね、今の八高には考えられないでしょう。僕らの時は、新潟2回、秋田、四国、九州2箇所、山口に遠征に行きました。

水泳王国八代を築いた八高水泳部 劣悪な環境の練習場での過酷な練習

後藤 高校13回の後藤です。入部した時は佐藤好助さんと2名だけの部活でした。昭和22年に発足された八代水泳協会は、東京オリンピックの時の「水泳王国八代」を築かれた先輩たちが作られました。その素晴らしい先輩たちのもとで高校時代に練習させていただきまし

かった。前川橋にある船にタツチして戻るというような競技をしていました。氷川で潜って鮎捕りばかりしていたので、泳ぐのは下手だったけど顔が真っ黒に焼けていました。そこで、水泳部顧問の児玉先生から、「お前しろ」と言われ出場しました。川へ飛び込んで、潜って顔をあげたら船の下を通り越していました。(笑) そんな水泳大会だったですね。

司会 水泳部は前川で練習されたことはありますか。

後藤 プールの清掃で泳げない時は、橋げたと橋げたの間を往復していました。流れてしまつたので、上流の方に頭を向けて泳ぎ始めていましたね。私の先輩たちは、球磨川や三楽の沈殿槽で練習をしていたそうです。それでいて水泳王国八代を築かれたのです。たいしたもんです。

新設弓道部 いきなりインターハイに出場！

八高は1コースを、他の高校は別のコースと割り振られていました。その当時、他の高校は強かったのですが、他の高校の練習ベースに合わせて頑張っていました。2月3月の練習は非常に厳しかったことを記憶しています。

徳永 クラブ活動には関係ないが、八高の水泳大会は、プールがな

私が入学した年、千葉県で開催されたインターハイに、男女共で出場しています。この男女同時のインターハイに出場したということもあり、翌年度に弓道場が野球場のバックネット裏に完成しました。現在の道場は校舎の南側にありますが、これは2代目です。今もインターハイと道場完成が記憶に残っています。

松嶋 高校30回の松嶋です。現在、八代弓道連盟の理事をしています。永碇に八高が移ってから道場が完成したということで、高校時代は同窓会館が校舎の北側にありまし

た。そこで夏休みに合宿をする、というのが各クラブの夏の定番であり、お楽しみの1つでありました。そこに、当時大学生だった、森本先輩が来られて、「大学はこやしで引くとぞ」と教えてもらい、その威容さに感動したのを覚えています。それがきっかけで、私は大学でも弓道を続けることになりました。森本さんとの出会いは、人生を変えたと言えるくらい衝撃的でした(笑)。合宿は3泊4日の間、只、弓ばかり引いていました。先輩が何人もこられて楽しかったです。

森本 弓道は一生懸命狙わないと当たりません。的は動かないので、外れるのは自分のせいです。後ろから見ていて、弓の方向が的を向いていない人がいます。本人は狙っているつもりであるが、離すときに微妙な感覚で的に当たる、そういう人もいます。だから逆もあります。的にちゃんと向いているのに、離すときにタイミングがずれ



堀川 剛さん



富永 勝年さん



江崎 博美さん

的に当たらない人もいます。そこが弓道の面白いところです。

部活動の強さは、先輩後輩の繋がり「絆」があったからこそ！

司会 柔道部では先輩のしごきがあったのですが、どのクラブも先輩後輩の絆があつて、現在があると思います。いかがでしょう。

富永 昭和24年からずっと八高の庭球部は強かった。特に女性の方は4連覇、5連覇しています。そういう伝統の力があつて、練習も先生から教えられたことはあります。それがきっかけで、私は大学でも弓道を続けることになりました。森本さんとの出会いは、人生を変えたと言えるくらい衝撃的でした(笑)。合宿は3泊4日の間、只、弓ばかり引いていました。先輩が何人もこられて楽しかったです。

森本 弓道は一生懸命狙わないと当たりません。的は動かないので、外れるのは自分のせいです。後ろから見ていて、弓の方向が的を向いていない人がいます。本人は狙っているつもりであるが、離すときに微妙な感覚で的に当たる、そういう人もいます。だから逆もあります。的にちゃんと向いているのに、離すときにタイミングがずれ

善してほしいなと思っています。私たちは旧校舎だったので、新校舎に行つたことがない。OBとして、現役の子供たちと、繋がりや絆を持たせてほしいと思っています。先輩たちと練習をすることで強くなる。伝統ということはそういうことだと思っています。

堀川 私たちの時代は、先輩後輩のつながりが強く、常に先輩が、夕方になるとテニスコートに顔を出すという状態でした。それを後押ししていただいたのは、私たちの先輩でもあります。初代協会会長の坂田先生や2代目の和田先生で、コートに差し入れをしてもらつたこともありました。貧しい時代だったので、そういうことで、先輩たちと現役が毎日繋がっているような雰囲気でした。私たちは、その中で、見よう見まねで技術的なものとか、あるいは礼儀作法とか、先輩に対する言葉遣いとかを学びました。だから、八高庭球部は強かったと思っています。保護者と学校と子供たちと地域社会、これらが協力しあつていくことが部活動の底上げになるし、授業では学べない連帯感や心の強さを築いていくものだと思います。

北岡 数年前までは、剣道の先生自体が、私の大学の先輩でもあつたので、電話をして、練習の日程



後藤 昭典さん



森本 俊規さん



松嶋 宏平さん

を確認して、OBとして練習に参加させてもらったことがあります。何度も行きましたが、みんな喜んでいました。今もOBとの練習をやっているかはわからないが、練習する時間があれば、是非、行きたいですね。

八高生永遠の課題 文武両道について

司会 文武両道についてです。スポーツの成績が良い人が勉強もできる、という話をよく聞きますがこの件について、皆さまの考えをお聞かせください。

富永 入学した時は、ほとんどの部員は100位以内だったが、卒業する時は300位代になっていた。(笑) 試験の時は試験時間が100分だったので、試験では20分受けて、30点取れたなと思ってから教室を出ようとみなで話し合っていた。教室をでた後に70分間練習していました。当然、勉強は下がったので、八高での成績は下がりました。最終的には就職はいいところに行ったので、良しでしょう。

北岡 中学校の校長を長くやっていた方の話で、「自分の中学校では全員に部活動をさせている。受験勉強をするのは体力と集中である。



徳永 三幸さん



北岡 博さん



福岡 信夫さん

体力と集中力を養えるのは部活動である。部活動で、良い成績をおさめたかどうかは別の話である。どうでもいいから続けていたという生徒はダメである。勝ちたい、上手になりたいと思って死ぬ気で一生懸命に頑張った生徒は、部活動が終わった時から、そこから受験勉強をスタートさせても、培った体力と集中力のおかげですぐに追い越す。自分の中学校では、八代市内で一番である。」と自慢気にお話をされていたのがとても印象深かったです。決して、勉強と部活動は別問題でない、集中力と体力をつけることが重要ですね。もう一つは、学生時代に習った先生がおっしゃっていたことに、「文武両道とよくいうけれど、両方の道ではない。別々のものを両立させるという意味ではなく、文武という言葉がもとも一つのことを表している。剣道が続けるのであれば、本を読んだり、良い先生の話や、絶対一流になれるませんよ」と言われたことを思い出しました。

福岡 八高時代は柔道ばかりして、あんまり勉強していないので、文武両道について発言するのはおこがましいのですが、柔道は嘉納治五郎氏が始められた武道ですが、柔道の精神はためになると思いますが、柔道は少々やんちゃな者でも

引っ込み思案な者でも礼儀が正しくなる。そして、自分を自分でコントロールできるようになる。また、少々の挫折に屈しなくなる。また、思いやりに溢れ、仲間と協調できるようになる。本心に柔道を長い間してきて、良いものです。こういったことが、文武両道につながっていくと思っています。

後藤 案外、クラブに入らなければ、時間があるので、勉強を一生懸命するかというところでもない。ただ、フラフラして3年間を過ごすよりもスポーツに集中して、その3年間の間になんとか忍耐強くなったという自負があります。実力者考でできる人は、150位くらいまでは名前が載るので、私は皆に151番だと言っていた。(笑) そんな冗談を言いながら過ごした3年間でした。

森本 私も部活動ばかりして、勉強はほとんどやっていない。弓道部の中にはできる人がいた。その人から教えてもらった。私達の時代、大学に入学するために浪人するのは当たり前で必要だと言われる。精神統一で生物の参考書を1冊、全部覚えてしまつて、浪人でも受けることができた校内模試でトップを取ったことがありました。生物だけです。(笑)。

部活で学んだことは今も生きている

司会 部活を通して得られたことで、今、生かしていることはなんですか。



松嶋 宏平さん

北岡 剣道を通して何を学んだかと具体的に言えないが、私の人生の中で考えると剣道で教わったことが自分の柱になっていると思います。剣道を通じて、聞いて学んだこと、やってみたことが、自分自身の柱になったので、剣道を50年以上続けてこられたと思っています。毎日ではないが、いまでもいろんな先生方と稽古できるし、高校生、中学生、小学生と一緒に練習できるということは、とても良いかなと思っています。ずっと続けてきたことが良かったことだと思っています。

松嶋 その場その年代に同じ志をもつ仲間がいつもいて、その仲間と一緒にできるということが、一番の趣味で続けられる理由となっています。今のメンバーは仕事が終わって19時くらいから道場に来ますが、仕事が終わった仲間と話しながら練習をして、その中に中学生が来たり、高校生が来たりします。楽しいです。続けることが1つの目的になっています。

松森 私も大学を卒業してから教員になり、転勤した先々で剣道部の顧問をしてきました。市の剣道連盟の副会長も10数年勤めた後、現在は相談役をしています。1つのことを通して人との出会いがあり、有難かったと思う。いろいろ



松森 萌さん

な人と出会って、お世話にもなつたし、苦しいときも鍛えてきたから今があるのかなと思います。今は、孫が剣道していて、孫が通う道場で、小さな子供達の指導を任されています。これから始めようとしている子供達、ワクワクしている子供達に竹刀を持って剣道を教えることを幸せに感じています。ひとつのことをずっとやれてよかったなと思っています。

徳永 柔道をするので、たくさんの人と出会って、良い友達ができ、本当に良かったと思っています。人生のいい場面を作ってくれました。

後藤 スポーツをする人は、人の中にさっと入っていきける精神が養えると思います。私は、社会に出てからも苦手という人を作ったことがありません。営業面でも苦手だから行きたくないと言われていたようなところへも進んで行きました。これには、試合での経験が役に立っていると思っています。

岡山 当時柔道や剣道は、女性に關係のないクラブでしたが、テニス部では楽しい思い出はなかったでしょう。私は陸上部でしたが、テニスは女性も男性も一緒に練習をしていたので、羨ましいと思って

いました。

堀川 テニスは強かったが、男女交際も盛んでした。指導者からは少し遠慮してもらえな



森本 俊規さん

いかなと言われたこともあったが、部内で堂々と交際して、結婚した人もいます。何事も積極的なことは良い結果が生まれます。私自身は、部内に好きな人がいて、西日本大会と一緒に徳島にいった時船の中で告白したが、彼女から「大事な進学があるので、それを優先しましょう」と言われ、ショックでした。何事も積極的にやることが人生大事であると思っています。テニスを一生懸命やって、いろんな人に出会えたということが一番大事なことであったように思う。これからどれだけできるかわからないが歩ける間はテニスに関わってきたいし、いろんな人と出会って、いろんな事を教えてもらいたいと思います。1つ残念なのが、本日出席したのは全員男子です。どの部にも女子の部員がたくさんいたと思います。次回こういう機会があったら、積極的に女性を入れていただき、いろんなお話をしたいんだけど、もっとよい座談会になったと思う。

富永さんから座談会の相談が来た時に、OGを案内しなかったのを後悔しています。(笑)

森本 顧問の先生はおられました。が、弓道経験者でなく、指導される方はいらっしゃらなかった。松井神社にある市の道場に行き、弓



村山 忍さん

練習にいらしていたので、顔なじみになり、二十歳になっても顔を知っているので非常に助かりました。現会長の水谷さんは、八高の先輩でもあり、奥さまが私の1つ後輩の藤井さん。藤井さんを高校時代に指導されていて顔見知りというところもあって、偶然めぐり会い、結婚をされたそうです。

八高の部活動を強く豊かなものにするには、OBと現役生との繋がり的大事

堀川 現状では、八高の庭球部の存在がわからないくらい、OBと現役が繋がっていません。本日出席された方がたで現在もOB会が存在しているところはありますか。残念ながら庭球部にはございません。会長にお願いしたいが、八高に行くと、部活動について、校長や体育の責任者と話し合いをされて、同窓生から、現役生とつながりをもちたいと要望がでていることを是非、伝えて欲しい。

森本 弓道は名前だけあります。私が会長兼幹事です。通帳に少しお金が入っていますが、名簿の整理ができておりません。

松森 高校の部活動を強くするためには、学校の体制が大事だと思います。最終的には学生を預かって

道連盟の会長に、毎日指導いただきました。社会人の方も

いる指導者の先生に頼るところが大事です。指導者のタイプには2通りあり、先輩の指導力をどんどん取り込んで指導する先生と、自分で固めてしまおう指導者がおられる。自分で固めてしまおう指導者に代わった場合は、それまで指導に行かれていた方もどうしても退かなければなりません。八代二中で教えていた時ですが、剣道部が優勝して県中体連でベスト16に入り日本武道館に行ったことがあります。その頃の二中は、よそからコーチに来ていただけで一緒に練習しておりました。その時は一番力が着きました。担当された指導者がどのタイプによるかで決まる。ただ、校長先生が「よそから」とおっしゃっても、直接預かっている先生が自分の指導方針をもっているもので、難しいのではないかと思います。

堀川 部の顧問の先生で積極的な方がいらつしやう、全ての人が協力することで、強くなる。よそからの応援を排除する指導者がいるところは強くなれません。現在の八高がそうです。東高の場合は、OBのみならず「八高のOBでも来て教えて下さい」と、ことあるごとに依頼されるので、私は、指導に行っています。秀岳館からも依頼があります。そうやって受け入れる先生であれば、自然と部活動も活発になるだろうし、社会人とのつながり、地域社会とのつながりができてきます。そこには、それぞれにいろんな人との出会いが生まれる。また、指導者の方の考え方ひとつであると思いますが、校長の意見もかなり左右すること

は間違ありません。私の経験上、校長によって学校の雰囲気が変わることは多々ありますね。

岡山 陸上では今月の8日に設立の総会をやりま。昭和50年に谷口一男さんがOB会を設立されましたが、数年で消滅してしまいました。今度、また久しぶりに総会をやりま。3年前の関東同窓会の時に天気予報の平井信行さんが出席されたおり、彼も陸上のOBだったので、陸上部のランニング姿で同窓会をされました。昔の部活動の郷愁があるのだと思います。濟々嶺高校の同窓会報では、どのOB会も記事が載っています。スペースを考えて、八高の同窓会報にもOB会の記事を載せれば、皆で共有できると思います。

松森 剣道部もOB会を数回はやったが、途切れてしまっています。もう1回復活させて、繋がりをもつことは大切であると思います。

北岡 剣道連盟は、剣道の道場のつながりが強いので、剣道を続けていらつしやる方であればすぐにわかるので、是非、OB会を作りたいと思います。

村山 本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。堀川さんからは、座談会には女性もぜひ、と提案いただいたので、次回からは女性も交えた会にしたいと思っています。予定では11月には同窓会報を、皆様に発送する手はずとなっています。今後とも同窓会の会報にご関心をお持ち

いただきますようお願いして、お開きにさせていただきます。本日はありがとうございました。(座談会中、高校生として許されない飲酒の話が出てきますが、よりリアルに八高生の生活を紹介するために、当時の八高生を取り巻く地域の実情や先輩と後輩のおおらかな関係、一般的な社会風土を考慮して、あえて掲載することになりました。)



母校だより

八代高等学校 教頭 菅 浩

「グローバル人材の育成」

創立120周年目の今年、学校長が示した教育目標の一つである「グローバル化に対応する人材育成」を具現化するために夏休み、二つの大きな行事がありました。

一つが7月21日に行われたNGO法人ユイマール代表照屋朋子さんをお招きしたの講演とワークショップです。

照屋さんは、世界経済フォーラム（ダボス会議）が選出する世界の若手リーダー30人に選出されるなど、世界を舞台に活躍なさっている方で、講演では主に貧困にあえぐモンゴルの子どもたちとの関わりについてお話くださいました。

その後、生徒たちはグループに分かれ、これからの世界をよりよくするために、はどのようなことが自分たちに行えるのかについて自由に討論を行いました。グローバル社会で活躍するた



めのいろいろな示唆をいただく貴重な経験ができました。後日、そのときの感想をフェイスブックに載せられています。本校生の姿勢に感動されました。是非一読ください。

二つ目がグローバルリーダー育成教育の一環として、8月12日～14日に福岡県宗像市のグローバルアリーナにて行われた「イングリッシュキャンプ」(Yatsushiro English Town)です。これは、中3と高1の生徒42名が15名のアメリカ人リーダーと共に起床後から就寝まですべて英語による共同生活を送り、英語劇やスピー

チなど様々な活動を行うものです。参加前は自分の英語が通じるのか不安だった生徒達が、二泊三日の活動を経て英語を使うことの楽しさや自分の可能性の広がりを経験し、修了式では達成感と別れの寂しさから多くの生徒達が涙を流していました。プログラムに同行されている日本人カウンセラーの方は、八中生・八高生の英語力の高さと活動に取り組む姿勢に大変驚かれました。



「本校生の活躍」

今年も多くの生徒たちが各種大会で活躍してくれました。その中でもこの夏、放送部が全国大会に出場しました。7月20日から東京の国立オリンピック記念青少年総合センターとNHKホールを会場に第62回NHK杯全国高校放送コンテストが行われ、放送部からア

ナウンス、ラジオドキュメント、創作ラジオドラマ、創作テレビドラマの4部門に9名の生徒が出場しました。また、7月31日から滋賀県栗東市の栗東芸術文化会館を会場に第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会が行われ、アナウンス部門に出場しました。残念ながら両大会ともあと一步のところで入賞はできませんでしたが、熊本県の代表として頑張ってくれました。

また、高校総体では、陸上部から男子砲丸投と男子200mの2名が全国大会に出場しました。連日37度を越す猛暑の中、体調管理に気をつけながら臨みました。残念ながら予選敗退という結果には終わりましたが、生徒たちは、全国大会では、独特の雰囲気、気候と体調管理、技術的、体力的な面と多くの課題に打ち勝つ力がないと準決勝、決勝へと進出することができないと感じたようです。

これから全国で通用する力を培いながら、八代高校の文武両道と結束を意識しながら頑張っていきたいという決意を新たにしたい貴重な経験でした。

「地域から愛される学校へ」

八高・八代中では夏休みを利用して、ゴミ拾いや除草作業のボランティア活動に取り組んでいます。本年度は7月23日、高校1年と中学1、2年が参加し実施されました。早朝学校に集合した後、クラス毎に割り振られた活動場所に向かい、約1時間半の清掃活動を行いました。学校周辺の児童公園が主な活動場所であり、小学校時代に友達と遊んだことを思い出しながら活動した生徒もいるようです。また、地域の方々も一緒にあって清掃活動される公園も多く、中高生との交流の機会にもなっています。短い時間でしたが、八高・八代中をいつも応援してくださる地域の方々に感謝の気持ちを伝えることができました。

今後ともより多くの八高生・八代中生の活躍を同窓生の皆様にお伝えすることができればと思っています。後輩たちにこれからご支援のほどよろしく願います。



八高史



八高の同窓会事務局には、文集「白鷺」と八代高女の「真美」が保存されています。九〇周年、一〇〇周年といった一〇年ごとの周年事業の際に刊行されたものもあります。八代中学創立当初、同じ学び舎に居ながら、互いを知る機会に恵まれていない生徒間の意思伝達の空白を埋めるべく「白鷺」は発行されました。同窓生の方や現役学生による寄稿文を掲載し、それぞれの時代を映した言葉が多数残されてきました。そのような中、本校は今年一二〇周年を迎えています。



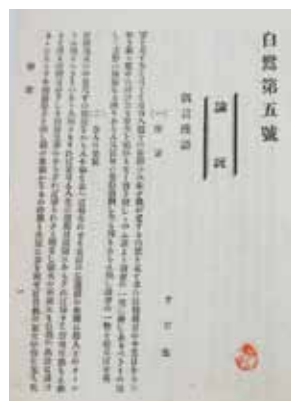
- 1 八代高女の卒業式での「送辞」、「答辞」を巻物にして保存してあります。これには、明治38年3月から昭和4年3月までのものが収録されています。
- 2 明治36年刊行「白鷺」
- 3 昭和17年刊行 八代高女「真美」高女創立40周年記念誌
- 4 大正5年刊行 八代高女「真美」第5号
- 5 昭和36年刊行 創立60周年記念「白鷺」
- 6 昭和51年刊行 創立80周年記念「白鷺」
- 7 昭和62年刊行 創立90周年記念「白鷺」
- 8 平成9年刊行 創立100周年記念「白鷺」



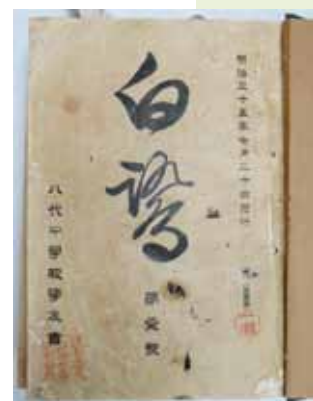
80周年に寄せた高女同窓生による「短歌」や「在校中の思い出」の寄稿文。



「英語欄」があり、英文で考えを述べたり、同じ単語で動詞と名詞では「なぜ意味合いが異なるのか？」などを発表している内容もあり、明治中期に初めて接する英語への熱い思いが伝わってきます。



生徒の手による論説などを掲載。



八代中学校校友会発行の白鷺は、明治35年刊行。歴史を感じます。

頑張ってます！

〜高10回卒〜

田原 弘徳



(写真提供 どう出版)

剣道範士8段

全日本剣道連盟常任理事・東京剣道連盟常任理事を歴任して、現在、武蔵武道館名誉館長、関東管区警察学校名誉師範のほか民間の剣道師範を務めている。

剣道8段選抜大会や国体優勝、東西対抗の東軍大將ほかの戦績がある。

国内各地の大会、講習会に招かれ審判長や講師を務めるほか、外国へも剣道の指南と普及のため飛び回っている。毎年、出かけている外国の行事は

3月 ボストン（ハーバート大学）の全米学生剣道大会
6月 上海剣道大会
9月 オーストラリア剣道セミナー

11月 スペイン（バスク地方・ビルバオ）剣道大会及びセミナー

ニューヨーク、ボストン、ロサンゼルス（UCLA大学）等でセミナー
12月 ベルギー剣道大会及びセミナー

これらの定期の大会の他にも、サウジアラビアやイラクなどの中近東地区、フィリピン、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス等々へ、剣道セミナーの講師として派遣され、剣道の指導・普及のために頑張っている。

田原君の剣道との出会いは、昭和30年、八代高校に入



スペインの剣士と



ハーバード大学剣道部の皆さんと

学した時。

八代高校で初めて剣道に巡り合い練習に励んだ。

当時、剣道部は城南地区の大会では優勝するものの、県大会ではベストエイトがせいぜいという実力だった。

大会で大將を務めたのは島興人君（10回卒）、田原君は副将だった。

将来の夢は「学校の先生」だった田原君だが、家庭の事情で大学進学を思いを断ち切って警視庁警察学校に入校。

「田原、大学に行かなくても、警察でも剣道の先生になれるぞ」とのアドバイスに連日連夜、厳しい稽古に精進した。

20才で剣道家の登竜門「警視庁体育専科」に合格、そして、24歳の最年少で警察学校

の剣道専門の先生（高校教員普通免許取得）になり、子どもの時の夢「先生になる」を実現した。

八代高校に入ってから始めた剣道。大將の島興人君にはとても歯が立たなかった剣道。しかし田原君は「努力に優る天才なし」を見事に実践して、今、日本剣道を代表する最高の活躍をしています。

田原君は良い先輩に恵まれて運が良かった。いや、先輩や先生達から受けた厳しい教えや叱責を自分への温かいアドバイスだと、素直に受け入れる感謝の心、謙虚な心が、田原君を良い方向に導いてくれたと言った方がいいだろう。



パリ大会で日本剣道形披露

田原君は剣道とは「人間形成の道である」と考える。

「剣道で日本女性を育て、まっとうな日本をつくりたい」「気力の根源は家庭だ。家庭の中心は女だ。剣道を通して素敵な素晴らしい日本のお母さ

んになるように指導したい」剣道の試合で勝ち負けにこだわらぬ父兄には「私の剣道指導は試合に勝つためだけではありません。大きな返事のできる子、きちんと挨拶のできる子、お父さんお母さんを大事にできる子になるよう感謝と思いやりの心を育む指導をしているのです」

彼が名誉館長を務める武蔵武道館（岡山県美作市）では、毎年、宮本武蔵顕彰 小中学生剣道大会、高等学校剣道大会、女子剣道大会『お通杯』を開いて、剣道の普及・発展に努めている。

太田郷幼稚園、昭和21年の卒園写真が手元にある。私のすぐ前に写っている田原君はまさしくガキ大將の顔である。彼は6人兄弟の次男坊で相当の悪ガキだった。

そんな彼が、母親の愛情と厳しい教えでここまで頑張ってきた。

彼が今日あるのは、この母親のお蔭である。

彼が女性・母親を教育の第一に考える原点がここにある。

今、彼は面倒をかけた、苦労をかけた母親に最高の親孝行をしているのだろう。

岡山 元紀（高10回卒）

だ よ り

七夕綱 無形民俗文化財に選択



坂本町木々子地区で受け継がれてきた七夕綱が今年の3月2日に、「八代・芦北の七夕綱」として「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択無形民俗文化財）」に選択されました。

「八代・芦北の七夕綱」は、集落などに綱を張り、地区の人々が製作した鶴や亀、人形、農具などの藁細工をつるします。綱は川を挟んで張られる場合が多いといいます。牽牛（せうきゅう）と織女（おひめ）が綱を伝って会う綱を張ることで、集落内に悪霊や疾病が侵入するのを防ぐなど言い伝えられています。

かつては県南部の30力以上の地区で行われていましたが、現在は八代市と芦北町を合わせて5力所のみになりました。

畳のよさを世界にPR



今年5月から10月まで、イタリアのミラノ市で「2015年ミラノ国際博覧会」が開催されています。和の食と文化の紹介を行う日本館のイベント広場では、い草・畳表でできたベンチ18脚を設置しています。

開催に先がけて、今年2月19日に「いぐさ・畳表ベンチ」の発送式が行われ、主催の熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会をはじめ関係者約50人が出席。田島幹雄同協議会会長が「い草・畳表の認知度を高めたい」とあいさつしました。ベンチは縦50cm横150cmで、座面にはくまモンのデザイン畳が施されているものも。説明プレートにはイタリア語と英語、日本語で「日本の伝統文化である畳の表面は、い草でできている」と書かれています。

市民ガイドがデビュー

▶第一中学校運動場横にある織田信長供養五輪塔の説明をする市民ガイド



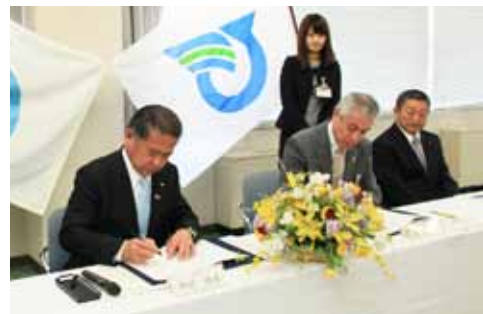
史跡めぐり「歩き、観、触れる！国史跡八代城！！」が今年4月18日に開催され、約40人が「本丸跡」「北ノ丸跡」「総構え」「三ノ丸跡」「二ノ丸跡」を散策しました。

案内役は八代史跡案内者の会員と、「八代城の魅力伝えるガイド養成講座」で1年間12回の研修を受けた17人の内7人。7人は、市民ガイドとしてのデビューとなりました。

八代城の小天守から月見櫓部分の石垣にある修復の痕跡を観察した際には、石材の色で石垣を積む技法の変化を読みとることができ、参加者からは「確かに修理した時期によって石材の色が違つ」といった驚きの声が上がっていました。

定住自立圏形成協定を調印

▶署名をする藤本一臣水川町長（奥）と中村博生市長（手前）



八代市と水川町による定住自立圏形成協定の調印が今年の3月23日に市役所本庁で行われました。

この協定は、圏域の市町村間で役割を分担して連携を図り、必要な都市機能と生活機能を確保。みんなが安心して豊かに暮らせる定住自立圏を形成することを目的としています。また、地方圏からの人口流出を食い止め、都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れの創出も掲げています。

今後、平成27年度内に定住自立圏共生ビジョンの策定に向けて、見識者などの懇談会やパブリックコメントが予定されています。

世界最大級のクルーズ客船



世界第2位の大きさを誇る客船「ファンタム・オブ・ザ・シーズ」が今年の7月23日に、八代港へ初寄港しました。

同客船は、総トン数16・7万トン、全長348m、全幅41m、高さ63m、乗客定員4180人で、日本に入港した客船の中では最大です。7月21日に中国の上海を出港して八代港に寄港しました。

乗船客約4000人は、入国審査の後に約110台のツアーバスに乗り込み、八代城跡や熊本城、阿蘇などに向かい観光を楽しみました。

出港セレモニーには、多くの市民が見送りに集まり、その船の大きさに「大きい」「すごい」という驚きの声が上がっていました。

フードバレー構想拠点施設完成



県が整備を進めていた「くまもと県南フードバレー構想」の拠点施設となる「フードバレーアグリビジネスセンター」が今年5月に完成しました。

この施設では、県南地域の豊富な農産物の高付加価値化に関する試験研究や、6次産業化の支援、事業者と食関連企業などとの新たなマッチングなどが行われます。また、主な取り組みとして、①6次産業化や事業拡大などの相談にワンストップで対応、②機能性成分の分析や流通・鮮度保持の試験研究、③オーブンラボ(同センターの設備などを無料活用)機能による事業者の試作や研究開発の支援、④くまもと農業アカデミーなどと連携した研修会などが行われます。

八代市中学生議会



▶ 質問をする八代中学校3年の田中優香さん(中央)

今年の8月6日、市主催で「八代市中学生議会」が八代市議会議場で初めて開かれました。市内17校から2人ずつの計34人が出席。市執行部に、日頃感じていることや体験したことなどを通して、観光振興や教育、福祉などについて質問を行いました。

議長は鏡中学校の上田将弘君が、副議長は第一中学校の麦田友佳さんが務め、議事進行にあたりました。「公共施設をコンパクトにまとめ、遊ぶ施設を増やすなどしてまちづくりを進めてはどうか」との質問に対し、中村博生市長は「平成19年にコンパクトシティの実現に向けた計画の認定を受けました。商店街振興組合と一緒に魅力あるまちづくりを検討していきます」と答弁しました。

新市誕生 10 周年記念式典



今年の8月1日に八代市は市町村合併から10周年を迎えました。これを記念して「八代市新市誕生10周年記念式典」が同日、やつしろハーモニーホールで行われました。

約600人が出席し、中村博生市長が「今後の20周年、50周年に向けた新たなスタートとなる日。誰もが楽しく暮らせる町となるよう努力していきたい」とあいさつしました。

また、10周年記念特別表彰や市民栄誉表彰が行われたほか、八代亜紀さんから届いたビデオメッセージの放映などが行われました。

フィナーレは八代少年少女合唱団がステージに上がり、来場者も一緒に市愛唱歌「わたしのまち」を合唱しました。

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学名、勤務先電話番号、最終学歴等の情報を指します。

また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含まれます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

八代高等学校同窓会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。

- (1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
- (2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
- (3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供（「5. 第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます）などの無いように、適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。

ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせて、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただきますようお願いいたします。

平成 24 年 8 月 25 日

熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局（八代高等学校内）

TEL0965-33-4138 FAX0965-35-8463

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

< 学年同窓会のご案内 >

昭和 49 年度卒 高 27 回 学年同窓会

日時：平成 28 年 1 月 2 日（土）

午前 11 時～受付、正午開宴

会場：「八代グランドホテル」八代市旭中央通り 10-1

TEL0965-32-2110

昭和 60 年度卒（高 38 回）卒業 30 周年同窓会

日時：平成 28 年 1 月 2 日（土）

午後 5 時～受付、午後 6 時開宴

会場：「セレクトロイヤル八代」八代市本町 2 丁目

会費：7,000 円 事務局：9 組 坂田誠

TEL090-3985-7704 E-mail sannkiti1967@gmail.com

◆平成27年度同窓会行事予定

(H27.4.1～H28.3.31)

平成27年(2015)

4月11日(土)	東海同窓会設立総会
4月24日(金)	第1回広報委員会
5月8日(金)	第1回正副会長会
6月5日(金)	第2回正副会長会
6月6日(土)	関西同窓会総会
6月7日(日)	岡山同窓会総会
6月13日(土)	会計監査
6月27日(土)	八代高校教育振興基金運営委員会 理事会
7月4日(土)	福岡支部総会
8月7日(金)	第3回正副会長会
8月22日(土)	同窓会総会
8月29日(土)	広島県同窓会総会
9月5日(土)	関東地区同窓会総会
10月2日(金)	第4回正副会長会
10月25日(日)	山口県同窓会総会
10月31日(土)	同窓会報「道」第7号発行
11月23日(月・祝)	妙見宮大祭 花馬奉納
12月4日(金)	第5回正副会長会
12月6日(日)	鹿児島県支部設立総会

平成28年(2016)

2月12日(金)	第6回正副会長会
2月29日(月)	同窓会入会式 平成27年度卒業生（高68回）

◆住所変更時の連絡のお願い

事務局では宛先不明による同窓会報の返送を減らしたいと考えています。

住所を変更された時は、事務局までご連絡下さい。

連絡先

〒866-0885 熊本県八代市永碇町856

熊本県立八代高等学校同窓会

TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463

メールアドレス

85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます

ホームページアドレス

<http://www.hachiko-dosokai.com/index.htm>

部活動 OB 会の活動状況や連絡先そして総会の日時等の紹介を同窓会のホームページで行いたいと思います。

上記、同窓会事務局のメールアドレスに御連絡下さい。

直ちに、ホームページに掲載いたします。

平成26年度八代高校同窓会会計決算書

1 収入の部 (単位: 円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘 要
年 会 費	5,000,000	4,928,000	72,000	2,338人分(内訳下表)
入 会 費	1,245,000	1,255,000	-10,000	5,000×251名分(うち中学80名)
雑 収 入	150,967	224,033	-73,066	名簿代、寄付、預金利息
合 計	6,395,967	6,407,003	-11,066	

2 支出の部

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘 要
会 議 費	400,000	44,731	355,267	同窓会座談会会場費、会議諸経費
印 刷 費	200,000	99,505	100,495	総会案内状
役 務 費	800,000	518,273	281,727	郵便・電話・広告・振込手数料、HP管理費
広 報 費	4,000,000	3,370,406	629,594	会報発行費
備品消耗品費	200,000	45,704	154,296	用紙代、プリンターインク代
慶 弔 費	250,000	144,207	105,793	香典・電報代・教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	199,453	100,547	卒業証書入れ丸筒代・校歌CD代
旅 費	800,000	704,025	95,975	支部地区同窓会出席旅費
雑 費	500,000	224,000	276,000	花馬補助等
地区補助費	200,000	200,000	0	支部・地区通信費への補助
積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	120周年事業費(特別会計へ)
合 計	9,450,000	7,350,286	2,099,714	

前年度繰越金	23,404,033	23,404,033	0
当年度収支差額	-3,054,033	-943,253	-2,110,780
次年度繰越金	20,350,000	22,460,780	-2,110,780

金銭管理状況

普通預金 九州労働金庫	888,688
普通預金 肥後銀行	1,506,948
振替口座 ゆうちょ銀行	3,171,250
定期預金 九州労働金庫3口	13,046,064
定期預金 熊本県信用組合	3,847,830

計 22,460,780

年会費振込金額	人 数	総 金 額
2,000円	2,294名	4,588,000円
4,000円以上	44名	340,000円
合 計	2,338名	4,928,000円

平成27年度八代高校同窓会会計予算書

1 収入の部 (単位: 円)

費 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A-B)	摘 要
年 会 費	7,000,000	5,000,000	2,000,000	2,000円×2,500人、1万円×200人
入 会 費	865,000	1,245,000	-380,000	5,000×173名分(高校入学生のみ)
雑 収 入	120,000	150,967	-30,967	名簿代、寄付、預金利息
合 計	7,985,000	6,395,967	1,589,033	

2 支出の部

費 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A-B)	摘 要
会 議 費	60,000	400,000	-340,000	会議諸経費
印 刷 費	120,000	200,000	-80,000	総会案内状
役 務 費	550,000	800,000	-250,000	郵便・電話・広告・振込手数料、HP管理費
広 報 費	3,500,000	4,000,000	-500,000	会報発行費
備品消耗品費	70,000	200,000	-130,000	用紙代、プリンターインク代
慶 弔 費	200,000	250,000	-50,000	香典・電報代・教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	300,000	0	卒業証書入れ丸筒代・校歌CD代
旅 費	800,000	800,000	0	支部・地区同窓会旅費
雑 費	350,000	500,000	-150,000	花馬補助等
地区補助費	220,000	200,000	20,000	東海同窓会設立のため増加
積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	120周年事業費(特別会計へ)
合 計	7,970,000	9,540,000	-1,480,000	

前年度繰越金	22,460,780	23,404,033	-943,253
当年度収支差額	15,000	-3,054,033	3,069,033
次年度繰越金	22,475,780	20,350,000	2,125,780

◆各支部・地区同窓会連絡先のご案内

- 八代高校関東地区同窓会…………… 会長：守屋 充男(高10回) 事務局長：中村 静雄(高19回)
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目6番10号 K・Kビル5階 中村会計事務所
TEL 03-3864-6951 FAX 03-3864-6957
定例総会：毎年9月の土曜日、東京都内の会場で開催
- 八代高校東海同窓会…………… 会長：坂田 孝之(高18回) 事務局長：岩崎 健作(高23回)
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-4-24 ライオンズビル第2丸の内705
TEL 052-204-1945 FAX 052-204-1943
- 八高関西同窓会…………… 会長：宮崎 正郎(高14回) 事務局長：木邑 公一郎(高23回)
〒603-8465 京都市北区鷹峯土天井町31-1 木邑 公一郎(高23回)方
TEL 075-494-3711 090-3670-7602 FAX 075-494-3715
定例総会：毎年6月の第1土曜日、大阪市内の会場で開催
- 八代高校岡山同窓会…………… 会長：森田 敦史(高14回)
〒703-8264 岡山市中区倉富7-7 吉田 高範(高18回)方
TEL 086-276-3979 FAX 086-276-3979
- 八代高校広島県同窓会…………… 会長：谷崎 續(高13回) 事務局長：村田 栄治(高28回)
〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田 栄治(高28回)方
TEL 0829-58-5455
- 八代高校山口県同窓会…………… 会長：山下 鐵洋(高14回)
〒755-0092 宇部市上野中町4-3 重田千恵子(高18回)方
TEL 090-7122-6159
- 八代高校同窓会福岡支部…………… 会長：佐藤 好助(高13回) 事務局長：磯部 和之(高23回)
〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80磯部和之(高23回)方
TEL 092-565-2232
定例総会：毎年、7月第1土曜日、博多祇園山笠にあわせて実施 福岡市内の会場で開催
- 八代高校同窓会熊本市支部…………… 会長：益田 敬二郎(高15回) 事務局長：坂田 雅孝(高24回)
〒861-4172 熊本市南区御幸笹田4-11-5 坂田 雅孝(高24回)方
TEL 096-379-0852
定例総会：隔年10月の土曜日、熊本市内の会場で開催
- 八代高校大分同窓会…………… 会長：田河 清一(高13回) 事務局長：松本 宏次(高15回)
〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40 松本宏次(高15回)方
TEL 097-549-3386

委員 古閑 雄一郎（高22回卒）

座談会では懐かしい、興味深い話題で毎回楽しませてもらっています。

今回は我が剣道部を代表して松森先輩と北岡君が出席。

当時、道場の正面に掲げてあった"剣心"という墨蹟の事が話題にのぼりました。これは部員の士気を高める為に一学年下の浜田君が書道の吉川先生に頼み込んで書いてもらったものです。それを北岡君が剣道部の部旗に仕立てたという事でした。今では試合会場で掲揚することはできないそうですが、ちょっと残念な気がします。

委員 岡村 洋文（高25回卒）

毎年地味に、たくさんの同窓生の想いを伝える編集作業をしています。

今回、21回卒木下さんの文章に同窓会の事を「～アルバムの中のセピア色の写真が、急に色彩を取り戻すような感覚～」と、ありました。「ステキな表現」です。私たちはこの感覚を皆さんが共有できるお手伝いをしているのだなあ…と感じました。

木下さん、ありがとうございました。

委員 ^{はじめ} 一 親房（高28回卒）

夕食時に適度のアルコールを嗜み、9時頃寢床に入り、朝方4時に目が覚め、2時間ほどネットでの情報収集や読書をし、その後、田畑に出かけ、朝日と朝露をたっぷり浴びながら、作物の生育状況を見て回り、朝食をとる。

毎日、そんな規則正しい生活を送っています。

しかし、気がかりなのは、寝る時間と起きる時間が、少しずつ早くなっている点です。

委員 松永 正大（高46回卒）

本年度より広報委員を任命され、同窓会HPの運営方法など、会議での先輩方の話を聞く中で、同窓会が卒業された方々との大切な繋がりツールになっていることに気付かされました。

自分の学年同窓会幹事を過去2回行った経験を活かし、そういった繋がりの一助となるようにお手伝いをさせていただきます。

野球部のコーチに 元プロ野球の投手

プロ野球ロッテで活躍された左腕投手園川一美氏が本校野球部の外部コーチに就任されました。指導は週1、2回。

甲子園への夢が近づくことを期待しています。

委員 成尾 善明（高49回卒）

今回、八高史のコーナーで、過去の周年事業の際に刊行された『白鷺』について触れました。

直近の創立110周年記念誌「白鷺」を1冊開いただけでも、在校生や同窓生の方の本校にまつわる思い出の断片が集まり、なにか巨大なもの（八高史）の一端を形成していることに気づき、ちょっと呆然としてしまいました。

委員 柴崎 政俊（高36回卒）

今年で2年目だったので、去年よりうまく意見が出せるかなと思っていましたが、あまり発言せず、受け身だったと反省しています。

会報作成にはあまり貢献できませんでしたが、夏の全体同窓会では万歳三唱をさせて頂き、若手としての役割をはたせたと思います。

委員 高見 聡一郎（高55回卒）

少しでも母校の役に立てばと思い、4月より広報委員会に参加させていただいております。同窓生の皆様と母校をつなげ、魅力ある広報誌やサイトの運営ができるよう取り組んで参ります。

今後ともよろしくお願い致します。



「平成28年度八代中学・八代高女・ 八代高校同窓会総会」

平成28年8月27日(土)

午後12時30分受付開始

総会 13時30分から

懇親会 17時から

会場 八代ホワイトパレス

来年度の大同窓会は、高34回生が担当します。
多くの皆さんの御参加をお待ちしております。

本校同窓生をねらった オレオレ詐欺が発生しています。

30～40代の男子卒業生の実家に電話がかかっているようです。男子同窓生の方は特に御注意をお願いします。